

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 06-187518

(43)Date of publication of application : 08.07.1994

(51)Int.Cl.

G06K 19/06
G06F 15/21

(21)Application number : 04-336198

(71)Applicant : KYODO PRINTING CO LTD

(22)Date of filing : 16.12.1992

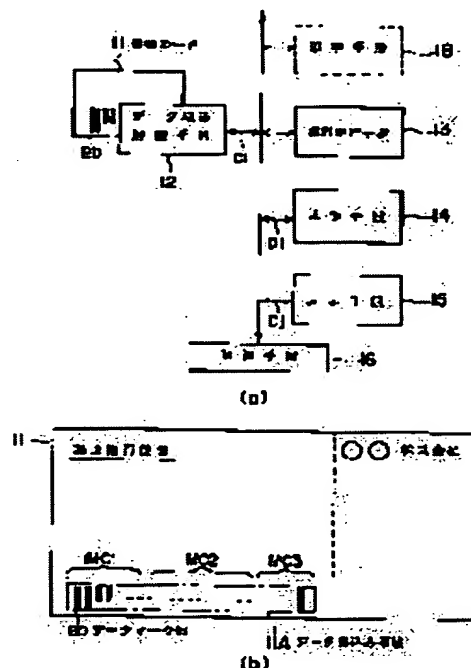
(72)Inventor : WATANABE YUJI
ITO MASAO

(54) DEVICE AND METHOD FOR CONTROLLING GENERAL MEETING OPERATION SYSTEM

(57)Abstract:

PURPOSE: To reduce the labor for the control of a general meeting operation system by reading instantaneously the bar code part printed previously on a document card concerning execution of the voting right through a simple reader in order to totalize the prescribed items and to process other data in a quick and accurate way.

CONSTITUTION: A data acquiring/decoding means 12 is provided to acquire and decode the proper write data D1 on a document card 11 concerning the execution of the voting right together with a totalization processing means 13 which performs the totalization processing based on the data D1, a storage means 14 which stores various data on the data D1, a display means 15 which performs the display processing based on various data, and a control means 16 which controls the input/output of the means 12-15. In such constitution, the means 16 carries out the totalization/decision processing based on the acquisition of the data D1 consisting of a data mark part BD where the numeric information is turned into a code.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 20.05.1999

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 08.05.2001

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japanese Patent Office

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-187518

(43)公開日 平成6年(1994)7月8日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 K 19/06				
G 0 6 F 15/21		Z 7052-5L		
		8623-5L	G 0 6 K 19/ 00	A

審査請求 未請求 請求項の数11(全 20 頁)

(21)出願番号 特願平4-336198

(22)出願日 平成4年(1992)12月16日

(71)出願人 000162113

共同印刷株式会社

東京都文京区小石川4丁目14番12号

(72)発明者 渡辺 裕司

東京都文京区小石川四丁目十四番十二号

共同印刷株式会社内

(72)発明者 伊藤 政男

東京都文京区小石川四丁目十四番十二号

共同印刷株式会社内

(74)代理人 弁理士 岡本 啓三

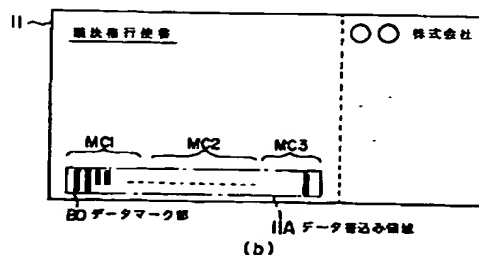
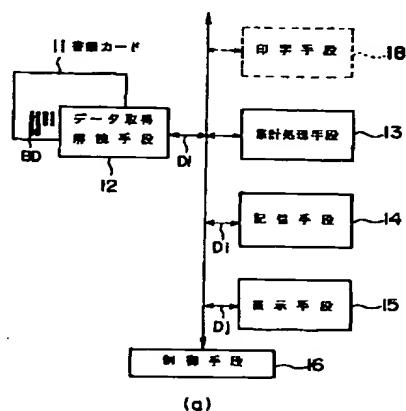
(54)【発明の名称】 総会運営システム管理装置及び総会運営システム管理方法

(57)【要約】

【目的】 本発明は総会運営システム管理装置に関し、議決権の行使に係る書類カードに予め印字されたバーコード部を簡易読取り装置により瞬時に読取り、その所定事項の集計処理や他のデータ処理を正確かつ短時間に行い、労力の軽減化を図ることを目的とする。

【構成】 議決権の行使に係る書類カード11の固有の書込みデータD1の取得・解読処理をするデータ取得/解読手段12と、固有の書込みデータD1に基づいて集計処理をする集計処理手段13と、固有の書込みデータD1に係る各種データを記憶する記憶手段14と、各種データに基づいて表示処理をする表示手段15と、データ取得/解読手段12、集計処理手段13、記憶手段14及び表示手段15の入出力を制御する制御手段16とを具備し、制御手段16が、数字情報をコード化したデータマーク部BDから成る固有の書込みデータD1の取得処理に基づいて集計判定処理をすることを含み構成する。

本発明に係る総会運営システム管理装置の原理図 (その1)



【特許請求の範囲】

【請求項1】 議決権の行使に係る書類カード(11)の固有の書込みデータ(D1)の取得・解読処理をするデータ取得・解読手段(12)と、前記固有の書込みデータ(D1)に基づいて集計処理をする集計処理手段(13)と、前記固有の書込みデータ(D1)に係る各種データを記憶する記憶手段(14)と、前記各種データに基づいて表示処理をする表示手段(15)と、前記データ取得手段(12)、集計処理手段(13)、記憶手段(14)及び表示手段(15)の入出力を制御する制御手段(16)とを具備し、前記制御手段(16)が、数字情報をコード化したデータマーク部(BD)から成る固有の書込みデータ(D1)の解読処理に基づいて集計判定処理をすることを特徴とする総会運営システム管理装置。

【請求項2】 請求項1記載の総会運営システム管理装置において、印字手段(18)が設けられ、少なくとも、前記印字手段(18)が書類カード(11)に議決権の行使に係る固有の書込みデータ(D1)をコード化したデータマーク部(BD)を印字することを特徴とする総会運営システム管理装置。

【請求項3】 請求項1記載の総会運営システム管理装置において、前記議決権の行使に係る書類カード(11)にデータ書込み領域(11A)が設けられ、前記データ書込み領域(11A)に、少なくとも、当該総会の種別コード(MC1)、有権者コード(MC2)及びその他のコード(MC3)が設けられることを特徴とする総会運営システム管理装置。

【請求項4】 請求項1記載の総会運営システム管理装置において、前記データ取得・解読手段(12)が予め作成された質疑応答に係る情報カード(17)の固有の書込みデータ(D2)の取得処理をし、前記制御手段(16)が、固有の書込みデータ(D2)の取得処理に基づいて予想質疑事項に対する応答処理制御をすることを特徴とする総会運営システム管理装置。

【請求項5】 請求項4記載の総会運営システム管理装置において、前記質疑応答に係る情報カード(17)にデータ書込み領域(17A)が設けられ、前記データ書込み領域(17A)に、少なくとも、当該総会の予想質疑事項に対する応答索引コード(QC)が設けられ、前記応答索引コード(QC)の解読処理に基づいて各種データが読み出されることを特徴とする総会運営システム管理装置。

【請求項6】 請求項4記載の総会運営システム管理装置において、前記制御手段(16)に、少なくとも、一以上のデータ取得・解読手段(12)や一以上の表示手段(15)が接続され、前記質疑応答に係る情報カード(17)の固有の書込みデータ(D2)に基づいてデータ表示処理をすることを特徴とする総会運営システム管理装置。

【請求項7】 請求項1～6記載の総会運営システム管理装置において、前記データ取得・解読手段(12)が、議決権の行使に係る書類カード(11)又は質疑応答に係る情報カード(17)のスライド状態を規定するカード位置出し手段(12A)と、前記書類カード(11)、情報カード(17)に設けられたデータマーク部(BD)を検出する二以上の検出手段(PS1, PS2)と、前記検出手段(PS1, PS2)から出力される検出信号(SP1, SP2)に基づいて固有の書込みデータ(D1, D2)を解読するデータ解読手段(12B)から成ることを特徴とする総会運営システム管理装置。

【請求項8】 予め、議決権の行使に係る書類カード(11)に当該総会の種別コード(MC1)、有権者コード(MC2)及びその他のコード(MC3)を含む固有の書込みデータ(D1)の印字処理をし、前記議決権の行使に係る書類カード(11)の配付処理をし、その後、前記議決権の行使に係る書類カード(11)の回収に基づいて固有の書込みデータ(D1)の解読処理をし、前記解読処理に基づいて集計判定処理をすることを特徴とする総会運営システム管理方法。

【請求項9】 請求項8記載の総会運営システム管理方法において、前記集計判定処理の後に、予め作成された予想質疑事項に係る情報カード(17)の固有の書込みデータ(D2)の取得処理に基づいて応答事項の出力処理をすることを特徴とする総会運営システム管理装置。

【請求項10】 請求項8記載の総会運営システム管理方法において、前記解読処理には、総会開催前の解読集計処理と総会当日の解読集計処理とが含まれることを特徴とする総会運営システム管理方法。

【請求項11】 請求項1～10記載の総会運営システム管理装置及び総会運営システム管理方法において、前記データマーク部(BD)が赤外線を吸収する物質より構成されることを特徴とする総会運営システム管理装置及び総会運営システム管理方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】 【目次】

産業上の利用分野

従来の技術(図16)

発明が解決しようとする課題(図17)

課題を解決するための手段(図1～4)

作用

実施例

(1) 第1の実施例の説明(図5～9)

(2) 第2の実施例の説明(図10～15)

発明の効果

【0002】

【産業上の利用分野】 本発明は、総会運営システム管理装置及び総会運営システム管理方法に関するものであり、更に詳しく言えば、株主総会や各種団体総会の成立有無の判断やそれに付帯する質疑応答処理を補助する装

置及び方法に関するものである。

【0003】

【従来の技術】図16、17は、従来例に係る説明図である。図16は、従来例に係る株主総会の管理方法を説明する図であり、図16(a)は、その総会案内書の印字方法の説明図である。また、図16(b)は、その総会案内書の一例をそれぞれ示している。

【0004】例えば、年一回定期的に開催される株主総会に係わり議決権行使書5Aを含む総会案内書5に氏名、住所、株数等を印字するシステム装置は、図16

(a)において、キーボード1、パーソナルコンピュータ2、プリンタ3及びメモリ4等から成る。

【0005】当該装置の機能は、株主総会の開催に先立ち、例えば、オペレータによりキーボード1を介して印字指令等の制御文がパーソナルコンピュータ2に入力されると、メモリ4から当該××株式会社の会社コード、株主番号コード、持株数、株主名及び住所等の個人情報(データベース)が読み出され、該データベースに基づく印字データによりプリンタ3を介して予め印刷された個別情報を除く総会案内書5に所定事項が印字される。例えば、図16(b)に示すように、議決権行使書5A部分に株数①、株主の住所②、氏名③及び数字コード④等が印字される。

【0006】ここで、数字コード④は当該議決権行使書5Aに印字された株主に係る社名コード、株主番号コード及び株数等が数字情報に置き換えられ、以後の集計処理やデータ管理の簡略化を図るべくそれが印字されるものである。また、図16(b)に示すような株数①、株主の住所②、氏名③及び数字コード④等が印字された議決権行使書5Aは、株主総会の開催前に株主宛に配付される。

【0007】なお、図17は、従来例に係る問題点を説明する株主総会の開催前の議決権行使書の処理説明図であり、図17(a)は、その株主総会欠席者分に係る議決権行使書である。また、図17(b)は、その議決権行使書の集計処理方法の説明図をそれぞれ示している。

【0008】一般に、株主総会に欠席する株主は図16(a)に示すような総会案内書5から議決権行使書5Aのみを切り離し、それを所定期日まで所定の代行業務を行う機関等に当該議決権行使書5Aを返送する。また、当該代行機関では議決権行使書5Aに印字された数字コード④に基づいて当該株主に係る社名コード、株主番号コード及び株数等が把握され、その集計処理が行われる。

【0009】例えば、図17(b)に示すように、当該議決権行使書5Aに印字された数字情報がオペレータによりキー入力され、それが該パーソナルコンピュータ2により解読され、会社別に株主番号コード及び株数等が集計処理され、それが記憶される。なお、オペレータのキー入力の労力の軽減化を図るべく、数字情報に係る画像

取得をし、パターン認識により数字コード④を解読し、当該株主に係る社名コード、株主番号コード及び株数等を識別する方法が採られる。

【0010】これにより、株主総会の開催前に回収した株主総会欠席者分に係る議決権行使書に記載された当該株式会社の総株数が集計される。一方、株主総会に出席する株主は図16(a)に示すような議決権行使書5Aと案内状部分5Bとを一体にした総会案内書5を株主総会会場に持参し、その会場の受付にて当該総会案内書5と定時株主総会出席票とを交換することにより、当該会場に入場をすることができる。

【0011】ここで、株主総会開催時刻の数十分前までに、当日出席者分に係る議決権行使書に記載された当該株式会社の総株数を集計され、更に、先の株主総会の開催前に回収した株主総会欠席者分に係る議決権行使書に記載された総株数との加算処理が行われ、その総会の成立有無が判断される。

【0012】

【発明が解決しようとする課題】ところで従来例の株主総会の管理方法によれば、総会開催前に回収した議決権行使書5Aの集計処理や株主総会当日の議決権行使書5Aの集計処理の際に、最も単純な方法としては、該議決権行使書5Aに印字された株数①、株主の住所②及び氏名③が人手により集計される。また、高度なデータ処理方法としては、図17(b)に示したように、該議決権行使書5Aに印字された数字情報(数字コード④)をオペレータによりキー入力する方法、又は、その画像取得に基づくパターン認識による方法により当該株主に係る社名コード、株主番号コード及び株数等を識別している。

【0013】しかし、総会開催前に回収した議決権行使書5Aの集計処理を行う代行機関であって、オペレータによるキー入力方法では、株主総会欠席者分に係る議決権行使書の取扱量が増加した場合に、大幅なキー入力処理の増加が余儀無くされる。また、オペレータのキー入力の労力の軽減化を図るべく、パターン認識方法を採用しようとする、年一回しか開催されない株主総会のためにCCD撮像装置等を設けた高価なデータ処理装置を具備しなければならず、汎用性に乏しい。

【0014】また、株主総会当日の議決権行使書(以下議決権の行使に係る書類カードともいう)5Aの集計処理にあっては、限られた時間内に正確な総株数を把握するため、多くの人員が必要となり、より正確なデータ処理が強いられる。なお、オペレータによるキー入力方法では、数字コード④の入力(取得)→解読等の一連のデータ処理の遅れから、特定の株主総会出席者に対するサービスの即応性に欠けるという問題がある。

【0015】本発明は、かかる従来例の問題点を鑑み創作されたものであり、議決権の行使に係る書類カードに予め印字されたバーコード部を簡易読取り装置により瞬時に読取り、その所定事項の集計処理や他のデータ処理

を正確かつ短時間に行い、労力の軽減化を図ることが可能となる総会運営システム管理装置及び総会運営システム管理方法の提供を目的とする。

【0016】

【課題を解決するための手段】図1、図2は、本発明に係る総会運営システム管理装置の原理図（その1、2）であり、図3（a）、（b）は、本発明に係る総会運営システム管理装置及び総会運営システム管理方法の原理図をそれぞれ示している。

【0017】本発明の第1の総会運営システム管理装置は、図1（a）に示すように議決権の行使に係る書類カード11の固有の書込みデータD1の取得・解読処理をするデータ取得／解読手段12と、前記固有の書込みデータD1に基づいて集計処理をする集計処理手段13と、前記固有の書込みデータD1に係る各種データを記憶する記憶手段14と、前記各種データに基づいて表示処理をする表示手段15と、前記データ取得／解読手段12、集計処理手段13、記憶手段14及び表示手段15の入出力を制御する制御手段16とを具備し、前記制御手段16が、数字情報をコード化したデータマーク部BDから成る固有の書込みデータD1の取得処理に基づいて集計判定処理をすることと特徴とする。

【0018】また、本発明の第1の総会運営システム管理装置において、図1（a）の破線に示すように印字手段18が設けられ、少なくとも、前記印字手段18が書類カード11に議決権の行使に係る固有の書込みデータD1をコード化したデータマーク部BDを印字することを特徴とする。

【0019】なお、本発明の第1の総会運営システム管理装置において、図1（b）に示すように前記議決権の行使に係る書類カード11にデータ書込み領域11Aが設けられ、前記データ書込み領域11Aに、少なくとも、当該総会の種別コードMC1、有権者コードMC2及びその他のコードMC3が設けられることを特徴とする。

【0020】また、本発明の第2の総会運営システム管理装置は、第1の総会運営システム管理装置において、図2（a）に示すように前記データ取得／解読手段12が予め作成された質疑応答に係る情報カード17の固有の書込みデータD2の取得処理をし、前記制御手段16が、固有の書込みデータD2の取得処理に基づいて予想質疑事項に対する応答処理制御をすることと特徴とする。

【0021】さらに、本発明の第2の総会運営システム管理装置において、図2（b）に示すように前記質疑応答に係る情報カード17にデータ書込み領域17Aが設けられ、前記データ書込み領域17Aに、少なくとも、当該総会の予想質疑事項に対する応答索引コードQCが設けられ、前記応答索引コードQCの解読処理に基づいて各種データが読み出されることを特徴とする。

【0022】また、本発明の第2の総会運営システム管理装置において、図2（a）に示すように前記制御手段

16に、少なくとも、一以上のデータ取得／解読手段12や一以上の表示手段15が接続され、前記質疑応答に係る情報カード17の固有の書込みデータD2に基づいてデータ表示処理をすることを特徴とする。

【0023】なお、本発明の第1、第2の総会運営システム管理装置において、前記データ取得／解読手段12が、図3（a）に示すように議決権の行使に係る書類カード11又は質疑応答に係る情報カード17のスライド状態を規定するカード位置出し手段12Aと、前記書類カード11、情報カード17に設けられたデータマーク部BDを検出する二以上の検出手段PS1、PS2と、前記検出手段PS1、PS2から出力される検出信号SP1、SP2に基づいて固有の書込みデータD1、D2を解読するデータ解読手段12Bから成ることを特徴とする。

【0024】本発明の総会運営システム管理方法は、図3（b）の処理フローチャートに示すように、まず、ステップP1で予め、議決権の行使に係る書類カード11に当該総会の種別コードMC1、有権者コードMC2及びその他のコードMC3を含む固有の書込みデータD1の印字処理をし、次に、ステップP2で前記議決権の行使に係る書類カード11の配付処理をし、その後、ステップP3で前記議決権の行使に係る書類カード11の回収に基づいて固有の書込みデータD1の解読処理をし、次いで、ステップP4で前記解読処理に基づいて集計判定処理をすることを特徴とする。

【0025】なお、本発明の総会運営システム管理方法において、前記集計判定処理の後に、ステップP5で予め作成された予想質疑事項に係る情報カード17の固有の書込みデータD2の取得処理に基づいて応答事項の出力処理をすることを特徴とする。

【0026】また、本発明の総会運営システム管理方法において、前記解読処理には、総会開催前の解読集計処理と総会当日の解読集計処理とが含まれることを特徴とする。

【0027】さらに、本発明の総会運営システム管理装置及び総会運営システム管理方法において、前記データマーク部BDが赤外線を吸収する物質より構成されることを特徴とし、上記目的を達成する。

【0028】

【作 用】本発明の第1の総会運営システム管理装置によれば、図1（a）に示すようにデータ取得／解読手段12、集計処理手段13、記憶手段14、表示手段15、制御手段16及び印字手段18が具備され、該制御手段16が、数字をコード化したデータマーク部BDから成る固有の書込みデータD1の取得処理に基づいて集計判定処理をする。

【0029】例えば、総会に必要な議決権の行使に係る書類カード11に所定事項を印字する場合、記憶手段14から住所、氏名等の個人情報を読み出され、これに基づく固有データ（数字）D1をコード化したデータマ

ク部BDが印字手段18により該書類カード11に印字される。この際に、図1(b)に示すように議決権の行使に係る書類カード11にデータ書込み領域11Aが設けられ、該データ書込み領域11Aに、少なくとも、当該総会の種別コードMC1、有権者コードMC2及びその他のコードMC3が赤外線を吸収する物質により印字される。

【0030】また、総会開催前に回収した総会欠席者分の議決権の行使に係る書類カード11や総会当日の議決権の行使に係る書類カード11の集計処理をする場合には、当該書類カード11の固有の書込みデータD1がデータ取得／解読手段12により取得解読処理され、該固有の書込みデータD1に基づいて制御手段16を介し集計処理手段13により集計処理される。

【0031】例えば、図3(a)に示すように議決権の行使に係る書類カード11のスライド状態がデータ取得／解読手段12のカード位置出し手段12Aにより規定され、該書類カード11に設けられたデータマーク部BDが二以上の検出手段PS1、PS2により検出され、該検出手段PS1、PS2から出力される検出信号SP1、SP2に基づいて固有の書込みデータD1がデータ解読手段12Bにより解読される。

【0032】これにより、種別コードMC1、有権者コードMC2及びその他のコードMC3から成る固有の書込みデータD1に基づく所定事項が記憶手段14に書き込まれる。また、必要に応じて各種データに基づき、その所定事項が表示手段15により表示処理される。

【0033】このため、従来例のキー入力処理に代わりカード挿入操作に緩和されることから、総会開催前に回収した議決権の行使に係る書類カード11や総会当日の議決権の行使に係る書類カード11の集計処理の際に、その取扱量が増加した場合であっても、オペレータの労力の軽減化を図ることが可能となる。また、年一回しか開催されない総会のために、CCD撮像装置等を設けた高価なデータ処理装置を具備しなくても済み汎用性に富んでいる。特に、総会当日の議決権の行使に係る書類カード11の集計処理にあっては、限られた時間内に少ない人員で所定事項を把握することが可能となる。

【0034】これにより、人手により所定事項を集計する方法に比べて、正確なデータ処理を行うことが可能となる。なお、従来例に比べ予め印字されたバーコード部BDを簡易読取り装置により瞬時に取得解読することができることから、特定の総会出席者の把握が瞬時に行え、適正なサービス態勢を採ることが可能となる。

【0035】また、本発明の第2の総会運営システム管理装置によれば、図2(a)に示すようにデータ取得／解読手段12が、予め作成された質疑応答に係る情報カード17の固有の書込みデータD2の取得処理をし、制御手段16が、固有の書込みデータD2の取得処理に基づいて予想質疑事項に対する応答処理制御をする。

【0036】例えば、総会会場の議長席やそのスタッフ席にデータ取得／解読手段12や表示手段15が設けられ、その複数のデータ取得／解読手段12や表示手段15が図2(a)に示すように制御手段16に接続される。

【0037】このため、予め作成された質疑応答に係る情報カード17の固有の書込みデータD2の取得解読に基づいて議長席やそのスタッフ席に設けられた表示手段15にデータ表示処理をすることができる。例えば、総会出席者の質疑事項に対して当該総会の議長又はスタッフにより、図3(a)に示すように当該情報カード17がデータ取得／解読手段12に挿入されると、そのスライド状態がカード位置出し手段12Aにより規定され、該情報カード17に設けられたデータマーク部BDが二以上の検出手段PS1、PS2により検出され、該検出手段PS1、PS2から出力される検出信号SP1、SP2に基づいて固有の書込みデータD2がデータ解読手段12Bにより解読される。

【0038】この際に、図2(b)に示すように情報カード17のデータ書込み領域17Aに設けられた応答索引コードQCの解読処理に基づいて当該総会の予想質疑事項に対する応答事項を内容とする各種データが記憶手段14から読み出され、該各種データに基づいて予想質疑事項に対する応答事項がリアルタイムに議長席やそのスタッフ席に設けられた表示手段15に表示処理される。

【0039】これにより、総会当日の質疑に対する応答処理の円滑化及びその労力の軽減化を図ることが可能となる。また、本発明の総会運営システム管理方法によれば、図3(b)の処理フローチャートに示すように、ステップP1で予め、議決権の行使に係る書類カード11に当該総会の種別コードMC1、有権者コードMC2及びその他のコードMC3を含む固有の書込みデータD1が印字処理される。

【0040】このため、ステップP2で配付処理された議決権の行使に係る書類カード11が、その後、ステップP3で回収されると、その総会開催前の解読集計処理をする際に、当該総会の種別コードMC1、有権者コードMC2及びその他のコードMC3を含む固有の書込みデータD1を簡易読取り装置により瞬時に解読処理をすることができ、株主総会等の株数の集計処理を合理的に行うことが可能となる。

【0041】また、ステップP4で総会当日の解読集計処理の際にも、当該総会の種別コードMC1、有権者コードMC2及びその他のコードMC3を含む固有の書込みデータD1の解読処理に基づいて総会の成立有効・無効を正確かつ短時間に集計判定処理をすることが可能となる。

【0042】なお、総会当日の質疑応答の際には、ステップP5で予め作成された予想質疑事項に係る情報カー

ド17の固有の書込みデータD2の取得処理に基づいて応答事項の出力処理をすることにより、円滑に総会を管理運営することが可能となる。

【0043】

【実施例】次に、図を参照しながら本発明の実施例について説明をする。図4～15は、本発明の実施例に係る総会運営システム管理装置及び総会運営システム管理方法を説明する図である。

【0044】(1)第1の実施例の説明

図4は、本発明の第1の実施例に係るSK株主総会運営システムの構成図である。また、図5はそのSK議決権行使カードの説明図であり、図6～8は、それに係るSKコード解読器の構成図であり、図9は、当該システムに係るデータベースの内容図をそれぞれ示している。

【0045】例えば、株主総会を管理運営するSK株主総会運営システムは、図4において、SK(Super Knowledge)議決権行使カード21、SKコード解読器22、集計エディタ23、メモリ部24、ディスプレイ25、CPU(中央演算処理装置)26、プリンタ28及びキーボード29等から成る。

【0046】すなわち、SK議決権行使カード21は議決権の行使に係る書類カード11の一実施例であり、年一回定時的に開催される株主総会の議決権を行使する書面である。なお、SK議決権行使カード21については図5において詳述する。SKコード解読器22はデータ取得/解読手段12の一実施例であり、SK議決権行使カード21の固有の書込みデータD1の取得解読処理をするものである。なお、SKコード解読器22については図6～8において詳述する。

【0047】集計エディタ23は集計処理手段13の一実施例であり、固有の書込みデータD1に基づいて集計処理をするものである。例えば、集計エディタ23はSK議決権行使カード21に記載された株主番号コードに対する株数を累積加算処理する。

【0048】メモリ部24は記憶手段14の一実施例であり、固有の書込みデータD1に係る各種データを記憶するものである。例えば、メモリ部24には図9に示すような当該株式会社の株主リストをデータベース化した固有の書込みデータD1の基礎となるデータが格納される。このデータには、株主に係る氏名表示データD31～D3n、住所データD41～D4n、株数、SKコード印字データD51～D5n及び特記コードが含まれる。ここで、SKコード印字データD51～D5nはSK議決権行使カード21に固有の書込みデータD1をコード化したデータマーク部BDを印字する際に読み出される。また、特記コードは持株の多い重要株主等の検索を容易にするフラグであり、以後の集計処理やデータ管理の際に使用される。

【0049】ディスプレイ25は表示手段15の一実施例であり、表示データに基づいて表示処理をするもので

ある。例えば、ディスプレイ25は氏名表示データD31～D3n、住所データD41～D4n、株数及び特記コード等に基づいて株主に係る氏名、住所、株数及び重要株主の有無等を表示する。

【0050】CPU26は制御手段16の一実施例であり、SKコード解読器22、集計エディタ23、メモリ部24及びディスプレイ25の入出力を制御するものである。例えば、CPU26は数字情報をコード化したデータマーク部BDから成る固有の書込みデータD1の取得処理に基づいて集計判定処理をする。

【0051】また、プリンタ28は印字手段18の一実施例であり、SK議決権行使カード21に固有の書込みデータ(数字)D1をコード化したデータマーク部BDを印字するものである。例えば、データマーク部BDは赤外線吸収する印字物質から成る。キーボード29はCPU26の入出力を補助するものであり、システムバス30は、SKコード解読器22、集計エディタ23、メモリ部24、ディスプレイ25、CPU26、プリンタ28及びキーボード29を接続し、各種データを伝送する。

【0052】図5は、本発明の第1の実施例に係るSK議決権行使カードの説明図であり、図5(a)はその平面図であり、図5(b)はそのデータ書込み領域IIAの説明図をそれぞれ示している。例えば、SK議決権行使カード21は議決権行使書と案内状部分から成る総会案内書を構成し、それにデータ書込み領域IIAが設けられる。

【0053】すなわち、SK議決権行使カード21は図5(a)において、横の長さL2が210[mm]程度、幅Hが100[mm]程度に切断された紙基板10の左側部分、例えば、左端から横の長さL1までが従来例に係る議決権行使書に相当し、その右側部分が案内状となっている。なお、データマーク部BDが印字される前の状態は従来例と同様に個別情報が除かれた総会案内書の連続用紙の形態を有している。

【0054】また、議決権行使書の下部表面領域には10×78[mm²]程度のデータ書込み領域IIAが割当られ、そのデータ書込み領域IIAに、少なくとも、当該総会の種別コードMC1の一例となる社名コード、有権者コードMC2の一例となる株主番号コード及びその他のコードMC3の一例となる株数につき、赤外線吸収する物質より成るデータマーク部BDが印字される(図5(b)参照)。

【0055】ここで、図5(b)において、S1、S2はデータ書込み領域IIAを上下に2つに分割するデータ列を示し、以後S1列、S2列といい、S1列はSK議決権行使カード21の下部に位置し、当該SK議決権行使カード21を本発明の実施例に係るSKコード解読器22に適用した場合に、S1列の黒色マークが第1の光センサPS1により検出され、S2列の黒色マークが第2

の光センサPS2により検出される関係にあるものとする。

【0056】なお、データマーク部BDはプリンタ28により印字され、SKデータ解読器22の光センサPS1、PS2の取付け位置を考慮して上段を縦×横＝4〔mm〕×2〔mm〕、その下段を縦×横＝4〔mm〕×2〔mm〕及び該マーク部BDのスペースとして1〔mm〕を保持するように印字する。

【0057】次に、当該SK議決権行使カード21に印字された固有の書込みデータD1を解読するSKカード解読器の構成及びその動作について説明をする。図6～8は、本発明の各実施例に係るSKコード解読器の構成図（その1～3）であり、図6（a）、（b）は、その数字情報の検出部の全体構成図とその内部回路図を示している。なお、図7はその論理回路の内部回路図であり、図8はその出力回路とその他の内部回路図をそれぞれ示している。

【0058】例えば、本発明の第1、第2の実施例に係るSK議決権行使カード21や後述のSK質疑応答索引カード27A～27Cの4桁の数字情報「0000」～「1099」の解読をするSKコード解読器22は、本発明者らが先に特許出願した数字情報の読出し装置に見られるように、黒色マーク検出回路20、カードガイド22A及びデータ解読回路22B等から成る。

【0059】すなわち、図6（a）において、黒色マーク検出回路20は二以上の検出手段PS1、PS2の一実施例であり、SK議決権行使カード21に設けられたデータマーク部BDを検出するものである。例えば、黒色マーク検出回路20は上下2段の光センサPS1、PS2と、下部マーク信号処理回路221及び上部マーク信号処理回路222から成る。

【0060】また、第1、第2の光センサPS1、PS2は反射型赤外線センサから成り、各光センサPS1、PS2がSK議決権行使カード21のS1列、S2列に設けられた複数の黒色マークを検出して検出信号SP1、SP2を下部、上部マーク信号処理回路22A、22Bに出力するものである。なお、光センサPS1、PS2は、第1、第2の光センサPS1、PS2のように二つに限定されることはない。

【0061】下部マーク信号処理回路221は入力レベルが調整された検出信号SP1に基づいてマーク検出データ（以下マーク検出データDP1ともいう）を出力するものである。上部マーク信号処理回路222は入力レベルが調整された検出信号SP2に基づいてマーク検出データ（以下マーク検出データDP2ともいう）を出力するものである。

【0062】カードガイド22Aはカード位置出し手段12Aの一実施例であり、SK議決権行使カード21やSK質疑応答カード27A～27Cのスライド状態を規定するものである。

【0063】データ解読回路22Bはデータ解読手段12Bの一実施例であり、図7、8に示すようにデータ入力回路223、データコード解読回路224、制御コード解読回路225及び数字データ出力回路226から成り、上部・下部マーク信号処理回路221・222から出力されたマーク検出データDP1、DP2に基づいてSK議決権行使カード21の数字情報0000～9999の取得処理をするものである。

【0064】データ入力回路223はマーク検出データDP1、DP2の入力処理をするものである。例えば、データ入力回路223は図7に示すように、二入力否定論理積回路NAND、二入力論理和回路OR、6個のD型フリップ・フロップ回路、4個のインバータINVから成り、該マーク検出データDP1、DP2が二入力否定論理積回路NANDや二入力論理和回路ORに入力される。

【0065】また、データコード解読回路224はマーク検出データDP1、DP2に基づいて各桁の数字情報0000～9999を解読するものである。例えば、データコード解読回路224は図7に示すように3個の三入力論理積回路AND3、2個の二入力論理積回路AND、2個の三入力論理和回路OR3、1個の三入力論理和回路ORから成る。

【0066】制御コード解読回路225はマーク検出データDP1、DP2に基づいて制御データDCを出力するものである。例えば、制御コード解読回路225は図7に示すように3個の三入力論理積回路AND3から成り、コントロールコードC1～C3を出力するものである。

【0067】数字データ出力回路226は数字0000～9999に基づいて桁単位に数字データDFを出力するものである。例えば、数字データ出力回路226は、図8に示すように16個のD型フリップ・フロップ回路から成り、4桁の数字情報「0000」～「9999」を4ビットの2値化符号により出力するものである。

【0068】また、2値化符号データD00～D03が数字情報の1の位を示し、同様に、データD10～D13が数字情報の10の位、データD20～D23が数字情報の100の位、データD30～D33が数字情報の1000の位をそれぞれ示すものである。

【0069】例えば、数字情報「0399」のSK議決権行使カード21が挿入された場合に、固有の書込みデータD1として数字情報「0399」が取得解読される。なお、当該読出し装置の電源回路227を数字データ出力回路226に併せて示している。

【0070】このようにして、本発明の第1の実施例に係るSK株主総会運営システムによれば、図4に示すようにSK議決権行使カード21、SKコード解読器22、集計エディタ23、メモリ部24、ディスプレイ25、CPU26及びプリンタ28が具備され、該CPU26が、数字情報をコード化したデータマーク部BDから成る固有の書込みデータD1の取得処理に基づいて集計判定処理をする。

【0071】例えば、年一回定期的に開催される株主総会に必要なSK議決権行使カード21に氏名、住所、株数等を印字する場合、オペレータによりキーボード29を介して印字指令（外部入力データD6）等の制御文がCPU26に入力されると、メモリ部24から当該××株式会社の会社コード、株主番号コード、持株数、株主名及び住所等の個人情報（データベース）が読み出され、このデータベースに基づくSKコード印字データD5nにより固有の書込みデータ（数字情報）D1をコード化したデータマーク部BDがプリンタ28により印字される。

【0072】この際に、図5（a）、（b）に示すようにSK議決権行使カード21のデータ書込み領域11Aに、少なくとも、当該株主総会の社名コードMC1、株主番号コードMC2及び株数MC3がデータマーク部BDとなって印字され、それが株主総会の開催前に株主宛に配付される。

【0073】また、株主総会の開催前に回収した株主総会欠席者分の議決権行使カード21に記載された当該株式会社の総株数を集計する場合には、SK議決権行使カード21の固有の書込みデータD1がSKコード解読器22により取得解読処理され、該固有の書込みデータD1に基づいてCPU26を介し集計エディタ23により集計処理される。この際に、図6（a）に示すようにSK議決権行使カード21がSKコード解読器22に挿入されると、そのスライド状態がカードガイド22Aにより規定され、該カード21に設けられたデータマーク部BDが二つの光センサPS1、PS2により検出され、該センサPS1、PS2から出力されるマーク検出信号SP1、SP2に基づいて固有の書込みデータD2がデータ解読回路22Bにより解読される。

【0074】例えば、社名コードMC1、株主番号コードMC2及び株数MC3等の固有の書込みデータD1がメモリ部24に書き込まれる。なお、必要に応じて氏名表示データD31～D3n、住所データD41～D4n、株数及び特記コード等に基づいて株主に係る氏名、住所、株数及び重要株主の有無等がディスプレイ25により表示される。これにより、株主総会の開催前に回収した株主総会欠席者分に係るSK議決権行使カード21に記載された当該株式会社の総株数が集計される。

【0075】このため、総会開催前に回収したSK議決権行使カード21の集計処理を行う代行機関であっても、株主総会欠席者分の取扱量が増加した場合であっても、従来例のキー入力処理に代わりカード挿入操作に緩和される。また、年一回しか開催されない株主総会のためにCCD撮像装置等を設けた高価なデータ処理装置を具備しなくても済み、汎用性に富んでいる。さらに、株主総会当日のSK議決権行使カード21の集計処理にあっては、限られた時間内に少ない人員で総株数を把握することが可能となる。

【0076】これにより、人手により総株数を集計管理する方法に比べて、正確なデータ処理を行うことが可能となる。なお、従来例に比べ予め印字されたバーコード部BDを簡易読取り装置により瞬時に取得解読することができることから、特定の株主総会出席者の把握が瞬時に行え、適正なサービス態勢を採ることが可能となる。

【0077】（2）第2の実施例の説明

図10は、本発明の第2の実施例に係るSK株主総会質疑応答システムの構成図である。また、図11はその質疑応答データの説明図をそれぞれ示している。

【0078】例えば、株主総会において予想される質疑に対し応答処理の円滑化を図るSK株主総会質疑応答システムは、図10において、SK質疑応答索引カード27A～27B、議長用モニタ33、複数のスタッフ用モニタ35A～35C、SKコード解読器32、メモリ部34及びCPU36等から成る。

【0079】すなわち、SK質疑応答索引カード27A～27Bは情報カード17の一実施例であり、株主総会において予想される質疑事項に対しその応答事項の検索処理をする際の索引カードである。例えば、SK質疑応答索引カード27Aは株主総会において予想される決算部門の質疑事項に対する応答事項を検索する複数枚の索引カードである。また、SK質疑応答索引カード27Bは人事部門の質疑事項に対する応答事項を検索する複数枚の索引カードであり、SK質疑応答索引カード27Cは事業部門の質疑事項に対する応答事項を検索する複数枚の索引カードである。

【0080】なお、SK質疑応答索引カード27A～27Cには図10に示すようにデータ書込み領域17Aが設けられ、該データ書込み領域17Aに、少なくとも、当該総会の予想質疑事項に対する応答索引コードQCが設けられる。応答索引コードQCは図5（b）に示したような数字情報をコード化したデータマーク部BDから成り、応答索引コードQCを二値化したものが固有の書込みデータD2となる。

【0081】議長用モニタ33は表示手段15の一実施例であり、総会会場の議長席に設けられ、各部門別の質疑事項に対する応答事項を表示するものである。複数のスタッフ用モニタ35A～35Cは表示手段15の他の一実施例であり、株主総会において予想される決算、人事及び事業等の各部門別の質疑事項を担当するスタッフ（構成員）に1台ずつ割当てられる。

【0082】SKコード解読器32はデータ取得／解読手段12の一実施例であり、第1の実施例に係るSKコード解読器22が応用される（図6～8参照）。メモリ部34は株主総会において予想される質疑事項に対する応答事項を応答表示データDAとしてファイルするものである。メモリ部34のファイル内容の一例を図11に示す。決算部門の質疑事項について、例えば、配当金の件については、応答索引コードQC11に対して所定の応答

表示データDA11が読み出され、また、余剰金の件については、応答索引コードQC12に対して所定の応答表示データDA12が読み出され、それらが議長用モニタ33に転送される。同様に、人事部門の質疑事項について、例えば、取締役の件については、応答索引コードQC21に対して所定の応答表示データDA21が読み出され、また、監査役の件については、応答索引コードQC22に対して所定の応答表示データDA22が読み出され、それらが議長用モニタ33に転送される。さらに、事業部門の質疑事項について、例えば、当該年度の報告については、応答索引コードQC31に対して所定の応答表示データDA31が読み出され、また、来期の計画案については、応答索引コードQC32に対して所定の応答表示データDA32が読み出され、それらが議長用モニタ33に転送される。

【0083】CPU36は制御手段16の他の一実施例であり、予め作成されたSK質疑応答索引カード27A～27Cの固有の書込みデータD2の取得処理に基づいて予想質疑事項に対する応答処理制御をする。例えば、CPU36は応答索引コードQCの二値化処理に基づく固有の書込みデータD2により応答表示データDAを読み出し、それを議長用モニタ33や担当スタッフのモニタ35A～35Cに転送をする。

【0084】システムバス31は議長用モニタ33、複数のスタッフ用モニタ35A～35C、SKコード解読器32、メモリ部34及びCPU36等を接続し、各種データを伝送するものである。

【0085】このようにして、本発明の第2の実施例のSK株主総会質疑応答システムによれば、図10に示すようにSKコード解読器32が、予め作成されたSK質疑応答索引カード27A～27Cの固有の書込みデータD2の取得処理をし、CPU26が、固有の書込みデータD2の取得処理に基づいて予想質疑事項に対する応答処理制御をする。

【0086】例えば、総会会場の議長席に議長用モニタ33がセットされ、そのスタッフ席にSKコード解読器32やスタッフ用モニタ35A～35Cが設けられ、その複数のSKコード解読器32やモニタ35A～35Cが図10に示すようにCPU26に接続される。

【0087】このため、予め作成されたSK質疑応答索引カード27A～27Cの固有の書込みデータD2の取得解読に基づいて議長席やそのスタッフ席に設けられたモニタ33や35A～35Cにデータ表示処理をすることが出来る。例えば、株主総会出席者の質疑事項に対して当該総会の議長又はスタッフにより、図6(a)に示すように当該SK質疑応答索引カード27A～27CがSKコード解読器22等に挿入されると、そのスライド状態がカードガイド22Aにより規定され、該SK質疑応答索引カード27A～27Cに設けられたデータマーク部BDが二つの光センサPS1、PS2により検出され、該光センサPS1、P

S2から出力されるマーク検出信号SP1、SP2に基づいて固有の書込みデータD2がデータ解読回路22Bにより解読される。

【0088】この際に、SK質疑応答索引カード27A～27Cのデータ書込み領域17Aに設けられた応答索引コードQCの解読処理に基づいて当該総会の予想質疑事項に対する応答事項を内容とする応答表示データDAがメモリ部34から読み出され、該応答表示データDAに基づいて予想質疑事項に対する応答事項がリアルタイムに議長席やそのスタッフ席に設けられたモニタ33や35A～35Cに表示処理される。

【0089】これにより、総会当日の質疑に対する応答処理の円滑化及びその労力の軽減化を図ることが可能となる。次に、本発明の実施例に係るSK株主総会運営システム管理方法について当該システムやSK議決権行使カード21の印字方法、集計処理を補足しながら説明をする。

【0090】図12は本発明の実施例に係るSK株主総会運営システムの管理フローチャートであり、図13はそのSK議決権行使カードに使用する数字コード記号「0～9」の説明図である。また、図14はカード回収時のデータ格納説明図であり、図15は総会当日のデータ処理の説明図をそれぞれ示している。

【0091】例えば、第1の実施例に係るSK株主総会運営システムと第2の実施例に係るSK株主総会質疑応答システムとを応用して株主総会を管理運営する場合であって、株主総会に欠席する株主に係るSK議決権行使カード21の回収集計については所定の代行機関が行う場合について説明をすれば、図12において、まず、ステップP1で予め、当該株主総会の社名コードMC1、株主番号コードMC2及び株数MC3を含む固有の書込みデータD1をデータマーク部BDにしてSK議決権行使カード21に印字する。

【0092】この際に、図9に示すような株主リストをデータベース化したメモリ部24から氏名表示データD31～D3n、住所データD41～D4n、株数、SKコード印字データD51～D5nが読み出される。また、当該株式会社の株を有する株主数に対応させてプリンタ28等によりSK議決権行使カード21をプリントアウトする。ここで、図5(a)に示したSK議決権行使カード21の説明図において、例えば、従来例と同様に個別情報が除かれた連続用紙の形態を有しているSK議決権行使カード(総会案内書)21の下部表面領域に当該総会の社名コードMC1、株主番号コードMC2及び株数MC3につき、赤外線吸収する物質より成るデータマーク部BDを印字する。

【0093】なお、データマーク部BDが紙基板10の任意の方向を基準にして長いマークと短いマークが組み合わせられて成り、本発明者らが先に特許出願したSKコードを採用する。また、その数字情報コード記号「0～

9」を図13に示す。

【0094】次に、ステップP2でSK議決権行使カード21の配付処理をする。ここで、連続用紙の形態を有しているSK議決権行使カード（総会案内書）21が横の長さL2が210〔mm〕程度、幅Hが100〔mm〕程度に切断され、各株主に郵送等される。なお、株主総会に欠席する株主は図15（a）に示すような総会案内書からSK議決権行使カード21のみを切り離し、それを所定期日まで所定の代行業務を行う機関等にそれを返送する。

【0095】その後、ステップP3でSK議決権行使カード21の回収に基づいて総会開催前の固有の書込みデータD1の解読集計処理をする。ここで、当該代行機関ではSK議決権行使カード21に印字されたデータマーク部BDの取得解読処理に基づいて当該株主に係る社名コードMC1、株主番号コードMC2及び株数MC3等が把握され、その集計処理が行われる。この際に、図6（a）に示すようにSK議決権行使カード21がSKコード解読器22に挿入されると、そのカードガイド22Aにより該カード21のスライド状態が規定され、そこに設けられたデータマーク部BDが上下2段の光センサPS1、PS2により検出される。また、赤外線を吸収する物質より成るデータマーク部BDが上下2段の光センサPS1、PS2により検出され、そのマーク検出信号SP1、SP2に基づいて固有の書込みデータD1がデータ解読回路22Bにより解読され、その解読結果がデータ解読回路22Bからデータバス30を介してCPU26に転送される。

【0096】これにより、図14（a）に示すように、例えば、社名コード「001」の〇〇会社に係る株主番号コードとその持ち株数がメモリ部34に格納累積され、また、社名コード「002」の〇〇会社に係る株主番号コードとその持ち株数がメモリ部34に格納累積される。これにより、当該代行機関では株主総会に欠席する株主に係わり、所定期日において社名コード別に株主番号コード及び総株数が把握される。それぞれ委託を受けた会社に総株数が報告される。

【0097】次いで、ステップP4で株主総会出席者のSK議決権行使カード21に係る解読集計処理する。例えば、株主総会当日のSK議決権行使カード21の集計処理にあっては、図15（b）に示すように、会場38の受付39に第1の実施例に係るSK株主総会運営システムが設置され、総会出席者が持参するSK議決権行使カード21と定時株主総会の出席票37とが引換えられる。また、オペレータはSK議決権行使カード21をSKコード解読器22に挿入し、株主番号コード及び総株数を登録する。ここで、図9に示すようなメモリ部24に格納されている株主リストと照合され、例えば、持株の多い重要株主等の特記コードが検索された場合には、ディスプレイ25にアラーム表示され、特定の株主総会

出席者の把握が瞬時に行え、当該会場38の株主席41の確保等の適正なサービス態勢を採ることが可能となる。

【0098】さらに、ステップP5で総会開催前の総株数と総会当日の総株数との加算処理に基づいて総会成立の有効／無効を判定する。ここで、代行機関からの株主番号コード及び総株数と総会当日の株主番号コード及び総株数が集計加算され、その総計株数が総会成立要件（規定値）を具備している場合に、「その旨」宣言される。

【0099】なお、集計判定処理の後に、ステップP6で予め作成されたSK質疑応答索引カード27A～27Cの固有の書込みデータD2の取得処理に基づいて応答事項の出力処理をする。ここで、予め、図15（b）に示すように、会場38の議長席40に第1の実施例に係るSK株主総会質疑応答システムの議長用モニタ33をセットし、また、そのスタッフ席42にスタッフ用モニタ35A～35Bをセットして置く。

【0100】このようにして、本発明の実施例に係る株主総会運営システム管理方法によれば、図12の処理フローチャートに示すように、ステップP1で予め、当該株主総会の会社コードMC1、株主番号コードMC2及び株数MC3を含む固有の書込みデータD1がデータマーク部BDされてSK議決権行使カード21に印字される。

【0101】このため、ステップP2で配付処理されたSK議決権行使カード21が、その後、ステップP3で回収されると、その総会開催前の解読集計処理をする際に、当該総会の会社コードMC1、株主番号コードMC2及び株数MC3を含む固有の書込みデータD1をSKコード解読器（簡易読取り装置）22により瞬時に解読処理をすることができ、株主総会欠席者の株数の集計処理を合理的に行うことが可能となる。

【0102】また、ステップP4で株主総会当日の解読集計処理の際にも、当該総会の社名コードMC1、株主番号コードMC2及び株数MC3を含む固有の書込みデータD1をSKコード解読器（簡易読取り装置）22により瞬時に解読処理をすることができ、ステップP5で固有の書込みデータD1の解読処理に基づいて株主総会の成立有効／無効を正確かつ短時間に集計判定処理をすることが可能となる。

【0103】なお、総会当日の質疑応答の際には、ステップP6で予め作成された予想質疑事項に係るSK質疑応答索引カード27A～27Cの固有の書込みデータD2の取得処理に基づいて応答事項の出力処理をすることにより、円滑に株主総会を管理運営することが可能となる。

【0104】また、本発明の実施例では株主総会を管理運営する場合について説明をしたが、各種スポーツ団体の総会、各種マンション管理組合の総会及び各種事業団体の総会にも適用可能である。

【0105】

【発明の効果】以上説明したように、本発明の総会運営システム管理装置によれば、データ取得／解読手段、集計処理手段、記憶手段、表示手段、制御手段及び印字手段が具備され、該制御手段により数字をコード化したデータマーク部から成る固有の書込みデータが取得され、これに基づいて集計判定処理が行われる。

【0106】このため、総会に必要な議決権の行使に係る書類カードの所定事項の把握処理につき、従来例のキー入力処理に代わりカード挿入操作に緩和されることから、総会開催前に回収した議決権の行使に係る書類カードや総会当日の議決権の行使に係る書類カードの集計処理の際に、その取扱量が増加した場合であっても、オペレータの労力の軽減化を図ることが可能となる。また、年一回しか開催されない総会のために、CCD撮像装置等を設けた高価なデータ処理装置を具備しなくても済み汎用性に富んでいる。特に、総会当日の議決権の行使に係る書類カードの集計処理にあつては、限られた時間内に少ない人員で所定事項を把握することが可能となる。

【0107】また、本発明の他の総会運営システム管理装置によれば、予め作成された質疑応答に係る情報カードの固有の書込みデータがデータ取得／解読手段により取得処理されると、固有の書込みデータの取得処理に基づいて制御手段により予想質疑事項に対する応答処理制御が行われる。

【0108】このため、予め作成された質疑応答に係る情報カードの固有の書込みデータの取得解読に基づいて議長席やそのスタッフ席に設けられた表示手段にリアルタイムに応答事項のデータ表示処理をすることができ

る。

【0109】また、本発明の総会運営システム管理方法によれば、予め、議決権の行使に係る書類カードに当該総会の種別コード、有権者コード及びその他のコードを含む固有の書込みデータが印字処理される。

【0110】このため、議決権の行使に係る書類カードが回収されると、その総会開催前の解読集計処理をする際に、当該総会の種別コード、有権者コード及びその他のコードを含む固有の書込みデータを簡易読取り装置により瞬時に解読処理をすることができ、株主総会等の株数の集計処理を合理的に行うことが可能となる。このことから、総会の成立有効・無効を正確かつ短時間に集計判定処理をすることが可能となる。

【0111】なお、総会当日の質疑応答の際には、予め作成された予想質疑事項に係る情報カードの固有の書込みデータの取得処理に基づいて応答事項の出力処理をすることにより、総会当日の質疑に対する応答処理の円滑化及びその労力の軽減化を図ることが可能となる。

【0112】これにより、従来例に比べ予め印字されたバーコード部を簡易読取り装置により瞬時に取得解読することができることから、特定の総会出席者を瞬時に把

握でき、適正なサービス態勢を採ることが可能となる。また、円滑な総会を運営管理するサポートシステムとして寄与するところが大きい。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る総会運営システム管理装置の原理図（その1）である。

【図2】本発明に係る総会運営システム管理装置の原理図（その2）である。

【図3】本発明に係る総会運営システム管理装置及び総会運営システム管理方法の原理図である。

【図4】本発明の第1の実施例に係るSK株主総会運営システムの構成図である。

【図5】本発明の第1の実施例に係るSK議決権行使カードの説明図である。

【図6】本発明の各実施例に係るSKコード解読器の構成図（その1）である。

【図7】本発明の各実施例に係るSKコード解読器の構成図（その2）である。

【図8】本発明の各実施例に係るSKコード解読器の構成図（その3）である。

【図9】本発明の第1の実施例に係るデータベースの内容図である。

【図10】本発明の第2の実施例に係るSK株主総会質疑応答システムの構成図である。

【図11】本発明の第2の実施例に係る質疑応答データの説明図である。

【図12】本発明の実施例に係るSK株主総会運営システムの管理フローチャートである。

【図13】本発明の各実施例に係るSK議決権行使カード等に使用する数字コード記号「0～9」の説明図である。

【図14】本発明の実施例に係るカード回収時のデータ格納説明図である。

【図15】本発明の実施例に係る株主総会当日のデータ処理の説明図である。

【図16】従来例に係る株主総会の議決権行使書の印字方法の説明図である。

【図17】従来例に係る問題点を説明する株主総会開催前の処理説明図である。

【符号の説明】

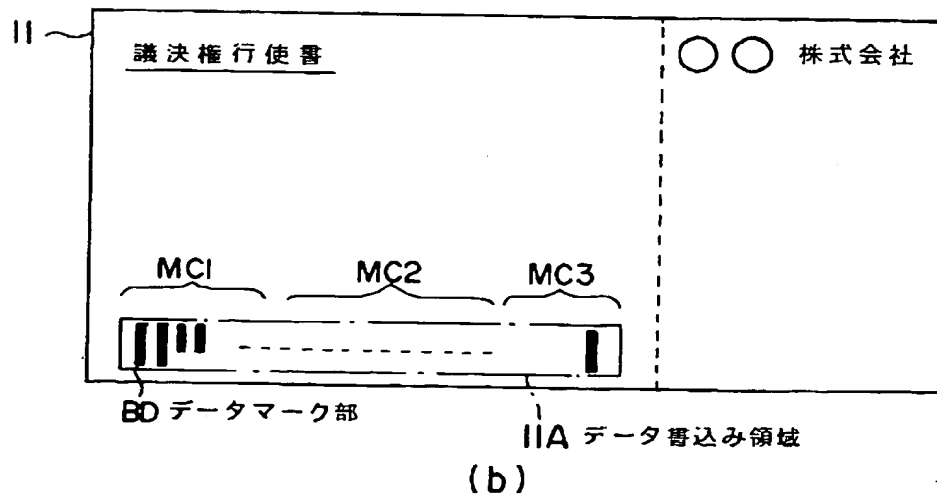
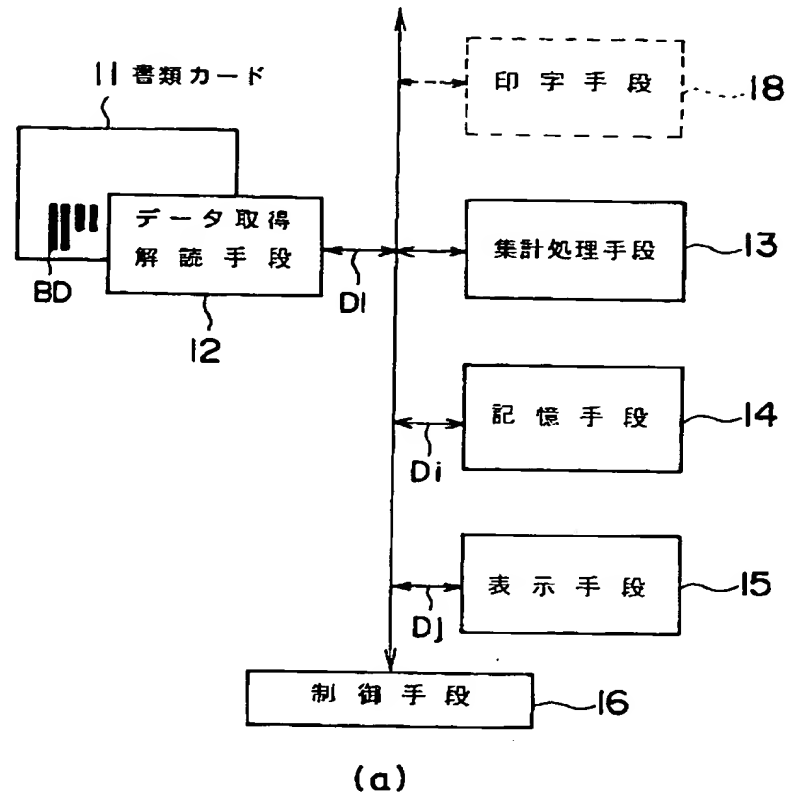
- 11…書類カード、
- 12…データ取得／解読手段、
- 13…集計処理手段、
- 14…記憶手段、
- 15…表示手段、
- 16…制御手段、
- 17…情報カード、
- 11A、17A…データ書込み領域、
- 12A…カード位置出し手段、
- 12B…データ解読手段、

PS1, PS2…検出手段、
 SP1, SP2…検出信号、
 D1, D2…固有の書き込みデータ、
 BD…データマーク部、

QC…応答索引コード (QC)、
 MC1…種別コード、
 MC2…有権者コード、
 MC3…その他のコード。

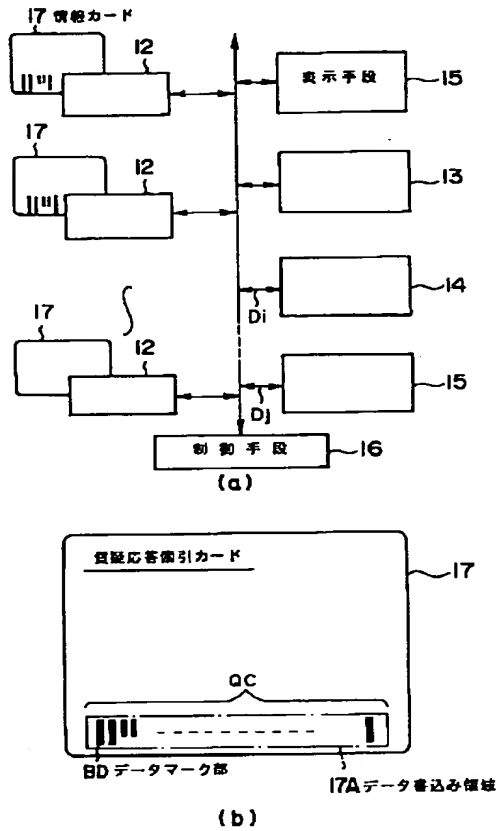
【図1】

本発明に係る総会運営システム管理装置の原理図 (その1)



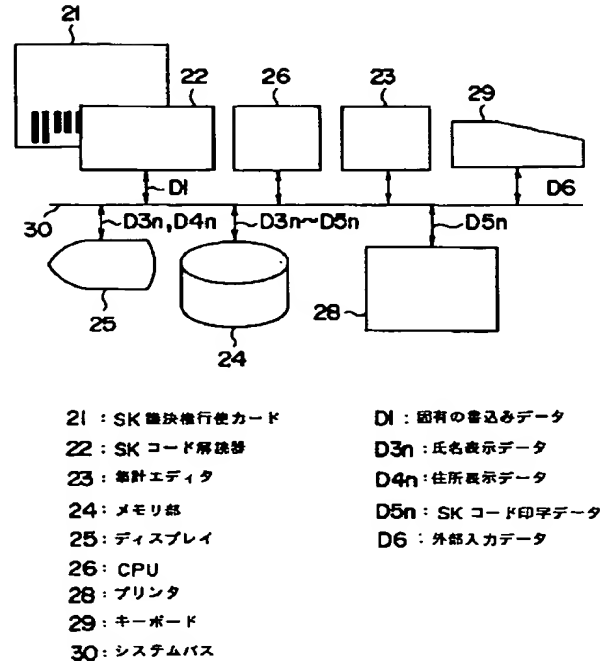
【図2】

本発明に係る総会運営システム管理装置の原理図（その2）



【図4】

本発明の第1の実施例に係るSK株主総会運営システムの構成図



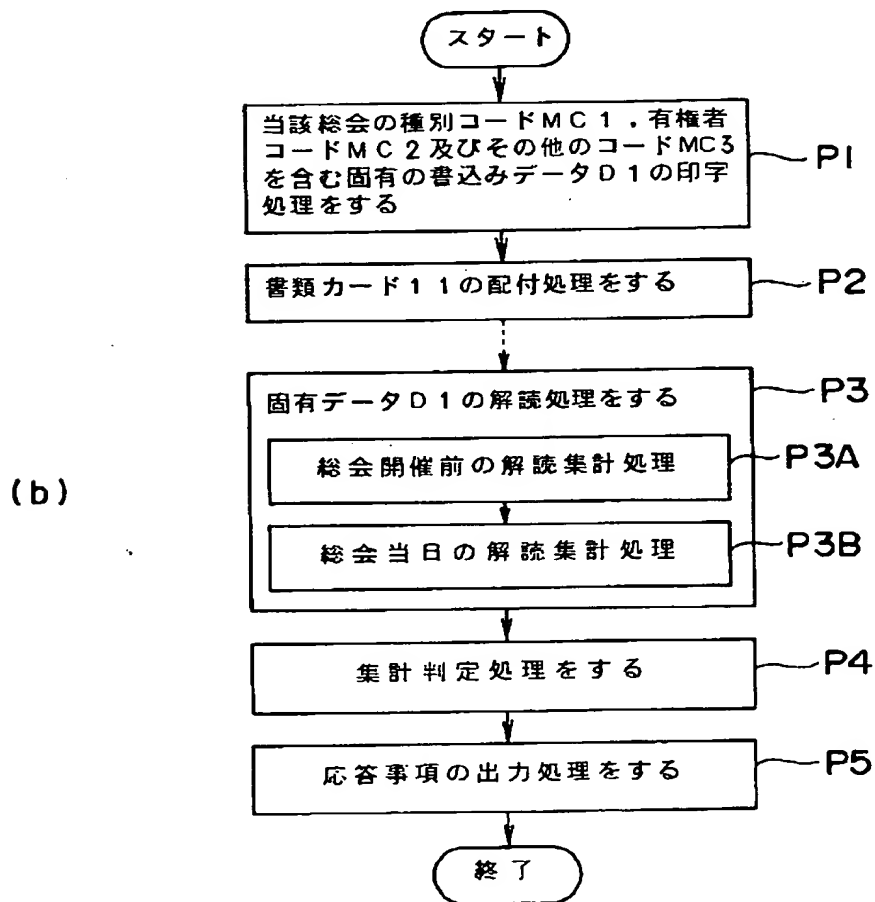
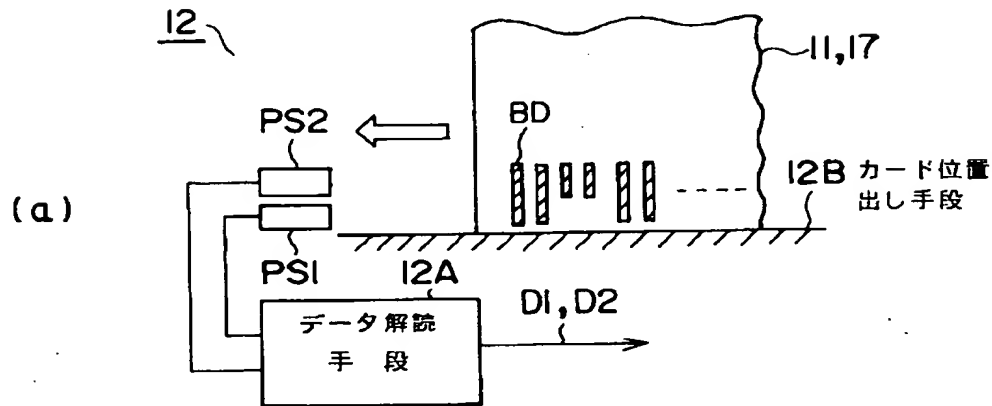
【図9】

本発明の第1の実施例に係るデータベースの内容図

社名コード	株主番号ナフ	氏名表示データ	住所表示データ	株数	SKコード印字データ	特記ナフ	その他
001 (〇〇会社)	1111	D31	D41	1,000	D51		
	1112	D32	D42	3,000	D52		
	1113	D33	D43	100,000	D53	※	
		
		
		D3n	D4n		D5n		

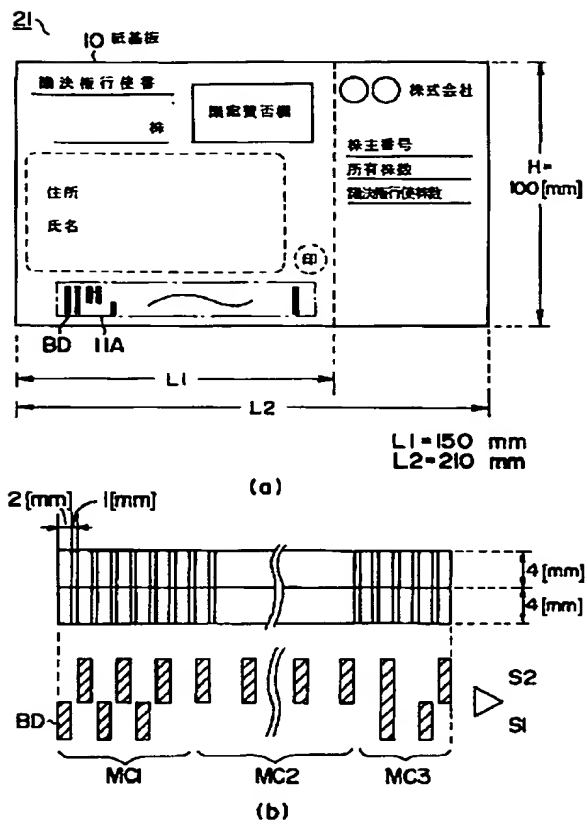
【図3】

本発明に係る総会運営システム管理装置及び
総会運営システム管理方法の原理図



【图 5】

本発明の第 1 の実施例に係る S K 議決権行使カードの説明図



【图 14】

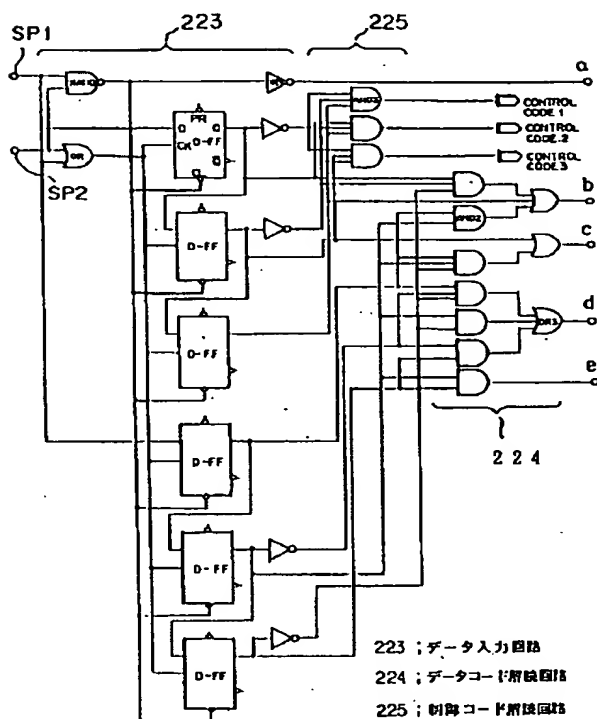
本発明の実施例に係るカード回収時のデータ格納説明図

社名コード	株主番号	株 数	累 積
001 (〇〇会社)	1111	1.000	1.000
	1112	3.000	4.000
002 (××会社)	1111	2.000	2.000
	1112	3.000	5.000

(a)



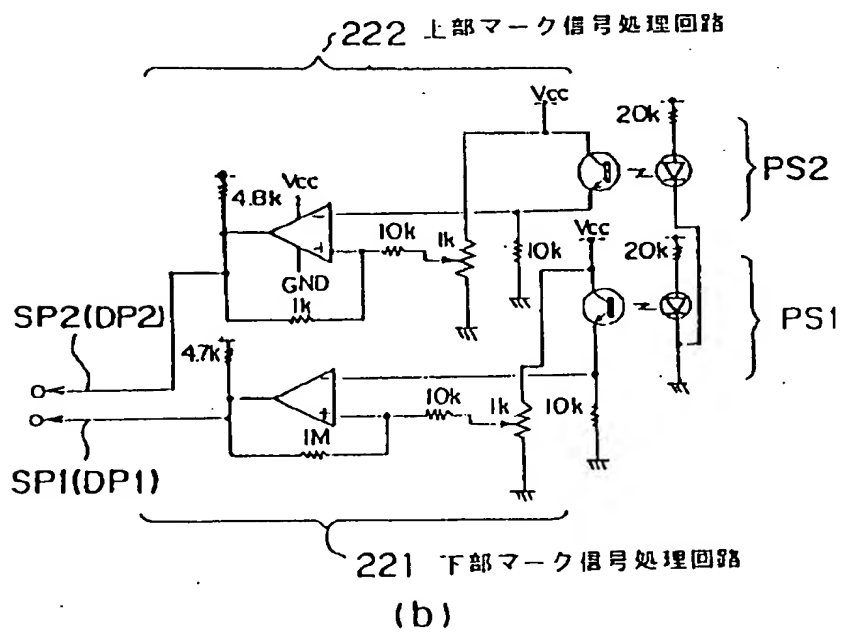
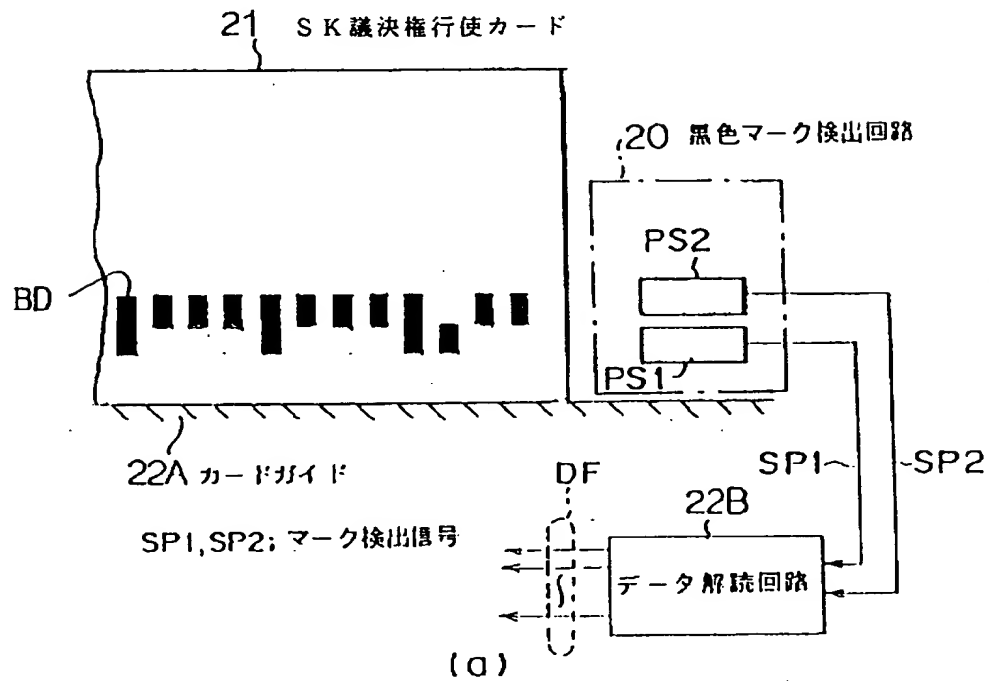
本発明の各実施例に係るSKコード解読器の構成図（その2）



(b)

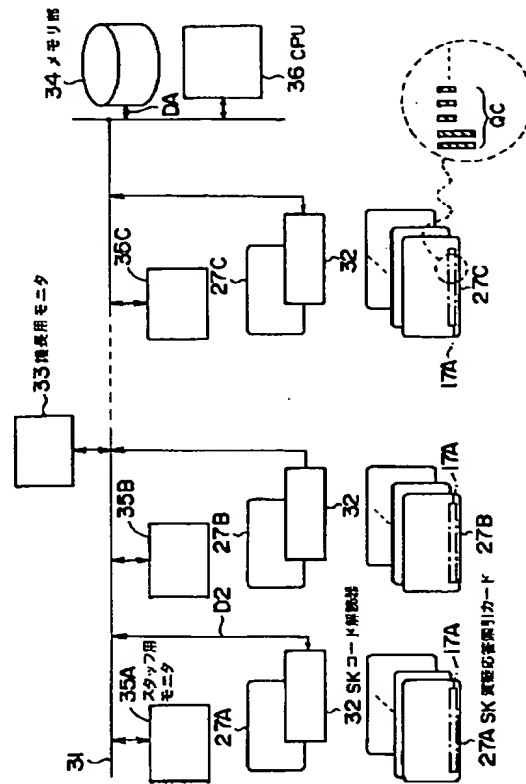
【図6】

本発明の各実施例に係るSKコード読取器の構成図（その1）



【☒ 1 0】

本発明の第 2 の実施例に係る S K 株主総会
質疑応答システムの構成図

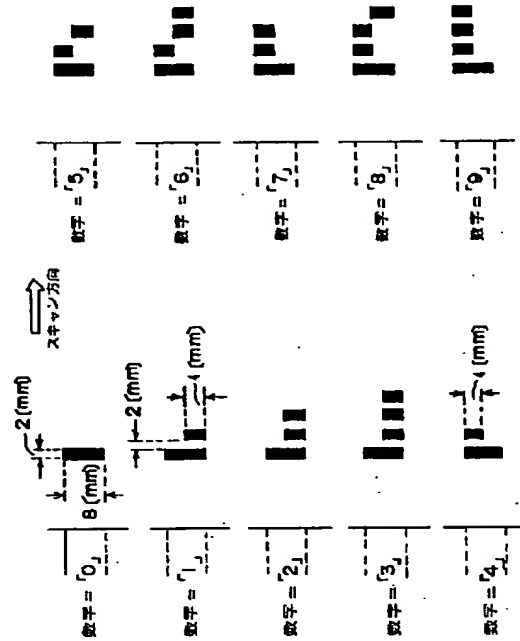


【図11】

本発明の第2の実施例に係る質疑応答データの説明図

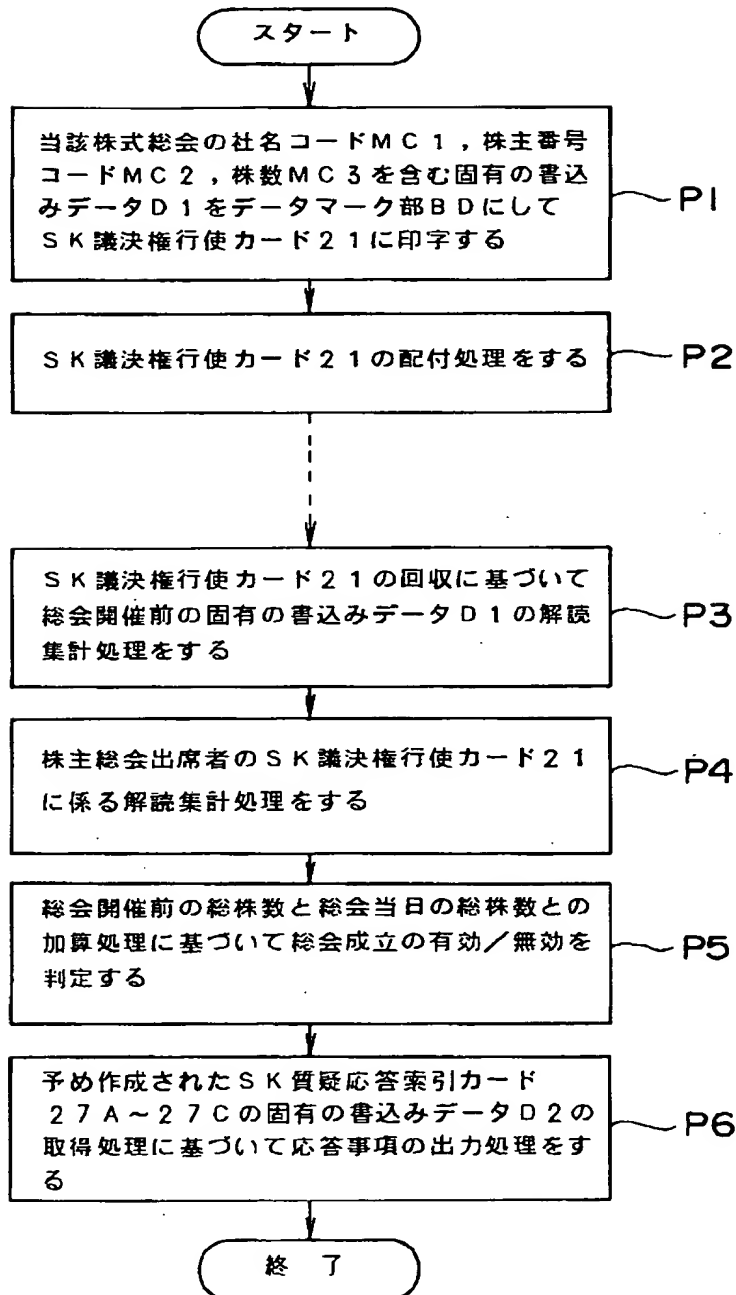
部 門	予想質疑（索引コード）	応答内容（表示データ）
NO. 1 (決算)	配当金の件	QC11
	余剰金の件	QC12
	∩	∩
		QC1n
NO. 2 (人事)	取締役の件	QC21
	監査役の件	QC22
	∩	∩
		QC2n
NO. n (事業)	当該年度の報告	QC31
	来期の計画案	QC32
	∩	∩
		QC3n

【図13】

本発明の各実施例に係るSKK磁決権行使カード等に使用する
数字コード記号「0～9」の説明図

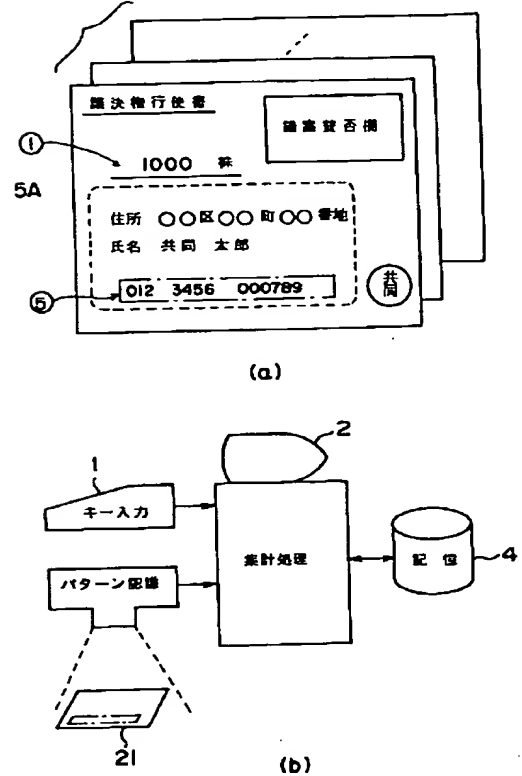
【図12】

本発明の実施例に係るS K株主総会運営
システムの管理フローチャート



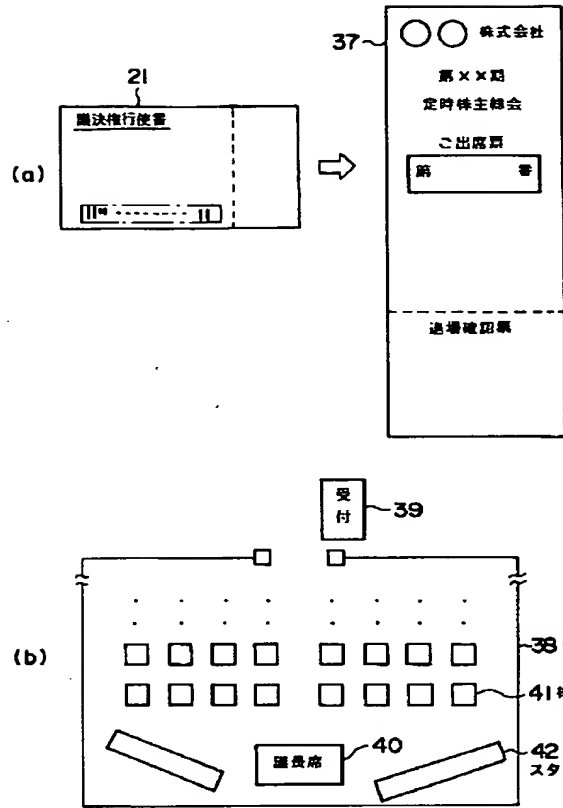
【図17】

従来例に係る問題点を説明する株主総会開催前の
処理説明図



【図15】

本発明の実施例に係る株主総会当日の
データ処理の説明図



【図16】

従来例に係る株主総会の議決権行使書の
印字方法の説明図

